

家畜衛生情報

つばき



季刊 第151号
令和7年 春号



菜の花（魚津ヶ崎公園）

目次

- P. 2 …韓国で口蹄疫が発生！
- P. 3 …油断禁物！鳥インフルエンザ
野生イノシシにおける豚熱感染が拡がる
- P. 4 …ランピースキン病に関して
サシバエ対策等について
- P. 5 …異常産ワクチン接種、
令和6年度病性鑑定実施状況
- P. 6 …令和6年繁殖集計
令和7年度体制

長崎県五島家畜保健衛生所
(五島振興局農林水産部家畜衛生課)

〒853-0031

長崎県五島市吉久木町725-3

TEL (0959)72-3379

FAX (0959)72-1023

E-mail s12230@pref.nagasaki.lg.jp



韓国で口蹄疫が発生！

韓国において、2025年3月に約2年ぶりに発生が確認されて以降、4月14日時点で牛14件、豚5件と発生が継続しています。

2010年の宮崎県における発生では、約30万頭の牛・豚が殺処分され地域社会・経済に大きな被害をもたらしました。

国内への侵入リスクは依然として高く、引き続き警戒が必要です。

今一度、発生予防の徹底をお願いします！

- 農場への関係者以外の立入禁止
- 農場内専用の靴・衣服の着用、手指消毒の実施
- 畜舎ごと専用の靴・衣服の着用、踏み込み消毒槽の設置
- 農場出入りの際の靴底・車両等の消毒
- 口蹄疫が発生している国への渡航自粛、
これらの国からの郵便物等の農場への持ち込みを制限
- 毎日の健康観察、異状発見時の早期通報



家畜伝染病予防のため
関係者以外
立入禁止



専用の衣服・靴、手指消毒



車外だけでなく車内も消毒

牛の病変



泡状のよだれ



びらん(水疱がやぶれた)



水 疱

病変写真：農林水産省
2010年
宮崎県事例

発熱や食欲不振に始まり、**泡状のよだれ**を流す、**口、ひづめ、乳房に水疱(水ぶくれ)**ができるのが特徴です。

豚の病変



潰瘍(水疱がやぶれた)

びらん(水疱がやぶれた)



**疑わしい症状は
直ちに通報を
お願いします。**

油断禁物!鳥インフルエンザ

発生予防対策の重要ポイント

家きん舎の周囲にはウイルスが侵入する経路が多く存在しています。
今一度、**点検・確認**をお願いします!



今シーズンは、10月に国内1例目が確認されて以降、14道県51事例発生し、約932万羽が殺処分の対象となりました。

農場における発生については、2月の千葉県での事例を最後に拡がりを見せていませんが、4月25日には、鹿児島県奄美市の野鳥においても高病原性鳥インフルエンザウイルス検出事例が確認されており、油断できない状況が続いています。

鶏飼養農家の皆様におかれましては、引き続き飼養衛生管理基準を遵守いただき、異状が確認された際には、早期通報をお願いします。

野生イノシシにおける豚熱感染が広がる

本県では、令和6年4月1日から令和7年4月25日時点で、976件の野生イノシシ豚熱感染確認検査を実施したうち、8件の感染事例が確認されています。また、令和7年2月、県内で初めての感染確認を受け、経口ワクチンの野外散布が実施されました。今後も継続して野生イノシシの豚熱感染確認検査を行いますので、死亡した野生イノシシを発見された場合は、市役所へ情報提供をお願いします。

また、4月11日、宮崎県都城市においても野生イノシシの感染事例が確認され、九州において豚熱の感染拡大リスクがかつてないほど高まっています。

豚飼養者の皆様におかれましては、引き続き飼養衛生管理を徹底の上、適時・適切なワクチン接種の実施を重ねてをお願いします。

経口ワクチン散布の様子



飼養豚豚熱発生県【24都県】：赤色
野生イノシシ感染確認県【40都府県】：黄色（千葉県を除く）
経口ワクチン散布対象県【41都府県】：黄色



令和7年4月21日時点

ランピースキン病に関して



本病は令和6年11月に発生し、令和6年12月26日に22例目の農場での発生を最後に新たな農場での発生は見られていません。

ランピースキン病は皮膚に結節や水腫が発生し、発熱、脚の腫脹や跛行がみられる病気です。対策として感染地域の移動制限、発症牛の淘汰、ワクチン接種が挙げられます。伝播の方法としては蚊やサシバエ等に付着したウイルスの感染やウイルスに汚染された飼料や器具等です。

この病気の発生を予防するためにもサシバエ等吸血昆虫対策の実施をお願いします。また、他の農場にウイルスを持ち込まないためにも、車などに付着したハエなども駆除してから移動するようお願いします。

気温も上がり、吸血昆虫が発生してくる季節となったため下記のような症状がみられた場合は担当の獣医師、もしくは家畜保健衛生所まで連絡をお願いします。



ランピースキン病の症状

サシバエ等の吸血昆虫対策について

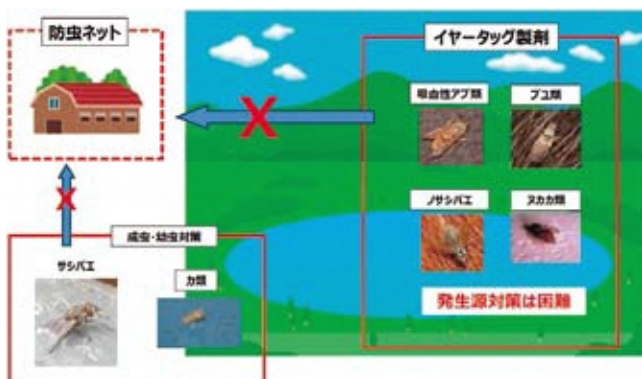
サシバエ等の吸血昆虫による伝染性疾病はランピースキン病だけではなく、牛伝染性リンパ腫（旧牛白血病）やアルボウイルスなど様々な病気の感染の拡大を起こします。そのため、この病気の発生や感染の拡大を防ぐためにも吸血昆虫対策が重要になります。

以下対策例を参考に吸血昆虫の生態に合わせた対策を実施して下さい。

サシバエや蚊などは防虫ネットの設置による成虫の侵入防止対策、吸血性アブ類等では発生源の特定が難しいためイヤータグ製剤などによる忌避効果を用います。

また、散布剤による使用もありますが、同一の薬剤の連用を避け、ローテーションを行い、畜舎上部から落ちるようかけてください。

吸血昆虫の対策の例



吸血昆虫に対する薬剤のまとめ

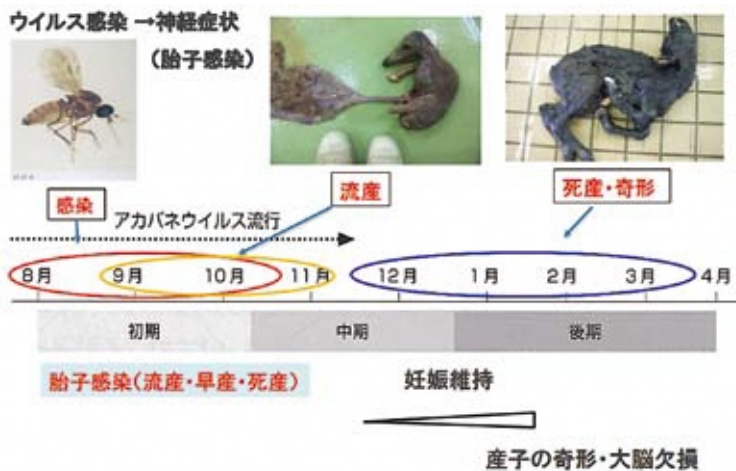
害虫種	発生場所	幼虫対策	成虫対策
サシバエ	農場内の糞便・堆肥	○	ベルネットBK6、散布剤
イエバエ	農場内の糞便・堆肥	○	エコスピード、散布剤
吸血性アブ類	草地、川沿いの土壌中	×	ベルネットBK6、ベルタッグ
ノサシバエ	放牧牛の糞	△	ベルタッグ
ブユ	溪流などのきれいな流水	×	ベルタッグ、ベルネットBK6
ヌカカ	水辺、一部は放牧牛の糞	×	ベルタッグ、ベルネットBK6

異常産ワクチン接種の励行

令和6年度のつばき冬号（150号）に掲載しましたが、五島管内において牛の流産や子牛の奇形を起こすアカバネウイルスやアイノウイルスの流行が確認されました。このほかにも牛異常産関連ウイルスとして牛流行熱ウイルスやイバラキウイルス、チュウザンウイルス、ピートンウイルス、ディアギュラウイルスなどが挙げられ、五島以外の他の地域では流行性出血病ウイルス（EHDV）血清型6の流行が確認されています。

これらの病気のうちアカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症、ピートンウイルス感染症、イバラキ病及び牛流行熱にはワクチンがあり予防が可能です。ワクチンを接種する場合、媒介昆虫である吸血昆虫が発生するより1か月前に接種することになっています。また、ワクチンの種類によっては2回接種のものもありますので、担当獣医師に相談をお願いします。

農場の損失を防ぐためにも異常産ワクチンの積極的な接種をお願いします。



ウイルス感染による症状時期
R6年度肉用牛大学資料引用

アカバネ病による起立不能



令和6年度病性鑑定実施状況

令和6年度に当所で実施した病性鑑定は129件（牛：107件、豚：8件、鶏：13件、山羊：1件）でした。主な診断名は下表のとおりです。

令和6年度の牛の病性鑑定では、第四胃潰瘍、腹膜炎などがみられ、また斃死や外傷など事故によるものが確認されました（疑い事例含む）。事故による死亡をはじめ、牛房内の汚れが目立つ、牛糞が堆積している状態では衛生状況が悪く、病気の発生にもつながるため定期的な清掃と消毒を行い、飼養衛生管理を見直すようお願いします。また、今年度も夏は暑くなると考えられるため暑熱対策もしっかり行うようお願いします。

畜種	主な診断名（疑い事例含む）・検査
牛	牛伝染性リンパ腫、牛パスツレラ症、第四胃穿孔、尿石症、牛大腸菌症、腹膜炎、斃死、外傷 流行熱検査、牛伝染性リンパ腫抗体検査、代謝プロファイルテスト、水質検査
豚	ADウイルス抗体検査、PRRSウイルス抗体検査、ステージ別検査
牛	鶏コクシジウム症、熱射病、HPAIウイルスモニタリング検査、ニューカッスル病ウイルス抗体検査
山羊	TSE検査

令和6年 繁殖集計より（凍結精液利用状況）

令和6年における管内の凍結精液利用回数は、県有種雄牛4,367回、県外2,524回でした。種雄牛別に見ると利用回数トップ5は県有種雄牛であり、利用回数第1位は昨年2位の「**幸男**」でした。第2位は昨年1位の「**金太郎3**」でした。

また、崎山町生まれで昨年度デビューした「**勝太郎3**」は、基幹種雄牛の中でもバランスの取れた能力を有しており、MUFAの育種価も高く今後の活躍が期待されます。

その他、岐宿町生まれの種雄候補牛「**鬼岳3（おにだけさん）**」、「**晴日当（はるひなた）**」の産子が生まれ、検定のために昨年度当管内でも購買されました。

今後も肥育農家に好まれる子牛や後継牛の生産のためにも、県有種雄牛を有効に活用ください。

なお、長崎県基幹種雄牛の枝肉成績は長崎県肉用牛改良センターのホームページからご覧いただけますのでご活用下さい。

管内における令和6年凍結精液利用状況

順位	種雄牛	利用本数	前年変動
1	幸男	2,063本	↑(2位)
2	金太郎3	810本	↓(1位)
3	福之鶴	436本	
4	勝乃幸	382本	→(4位)
5	百合美	373本	



長崎県肉用牛改良センターHP

令和7年度 五島家畜保健衛生所新体制 ～よろしくお願いします～

〈家畜衛生課〉

所長(課長) 早稻田

〈衛生班〉

主任技師 瀬田

主任技師 木村

庶務(会計年度任用職員)
小林

〈所属から〉

昨年度同様2名欠員で、木村は3時45分までの時短勤務です。

よろしくお願いします。

〈開催案内〉 令和7年度 長崎県家畜保健衛生業績発表会

日時：令和7年5月28日(水)

場所：長崎県庁 313・314会議室

(長崎市尾上町3番1号)

皆様の来場をお待ちしています。



表紙について

令和7年4月、魚津ヶ崎公園で開催された菜の花まつりの写真です。菜の花の先に風車も確認ができ、とてもきれいな画です。これから菜の花まつりやあじさい祭りなどがあり、イベントがたくさん開催されます。